

つなぐ技術で、あなたに喜びを

BUFFALO™

Art Collaboration Kyoto 2022



バッファローの「FREESPOT」導入キットで
気軽にライブ配信を視聴できる公衆Wi-Fiを提供

目的・課題	業種	導入商品
公衆Wi-Fi導入	イベント	Wi-Fi (無線LAN)

イベントの満足度向上と来場者・出展者間のスムーズな商談をサポートするため、メイン会場内の適所でつながる公衆Wi-Fiサービス「FREESPOT」を提供



導入先プロフィール (2022年12月現在)

イベント名	Art Collaboration Kyoto 2022
会場	国立京都国際会館イベントホール 〒606-0001 京都府京都市左京区岩倉大鷲町422番
URL	https://a-c-k.jp
運営組織	Art Collaboration Kyoto 実行委員会事務局
所在地	〒604-0862 京都府京都市中京区烏丸通夷川上ル 少将井町229-2 第7長谷ビル2階

2022年11月、国立京都国際会館イベントホールをメイン会場に「現代アートとコラボレーション」をテーマとする「Art Collaboration Kyoto 2022」が開催されました。現代美術に特化した国内最大級のアートフェア開催にあたり、Art Collaboration Kyoto実行委員会は来場者の満足度・利便性向上を図るため会場内のネットワーク環境を整備。バッファローの「FREESPOT」導入キットを用いて公衆Wi-Fiを構築しました。また、貸出用モバイルバッテリーも併せて導入。出展ギャラリーやアーティストも含めてデータ通信量やバッテリー消費を気にすることなくスマートフォン利用が可能になりました。

課題

来場者が自由に使える
公衆Wi-Fiを提供したい

ライブ配信イベントを実施 ▶ 自由に使える通信環境が必要

会場でのスマホ利用機会増 ▶ 会場内の充電環境整備が必要

対策

「FREESPOT」導入キットを用いて公衆Wi-Fiを導入
来場・出展者向けの貸出用モバイルバッテリーを導入

効果

来場者の通信量負担軽減。
スムーズな商談も可能に

各所でつながる公衆Wi-Fi ▶ 来場者の通信負担軽減

バッテリー切れの不安解消 ▶ 商談の機会損失を回避

選定の
ポイント

認証機能搭載で高セキュリティーな「FS-M1266」
「BSMPB10030C3BK」はコンパクトで場内持ち運びに便利

お客様インタビュー

Art Collaboration Kyoto
実行委員会事務局
ショウマネージャー
鈴木 秀法氏(左)

Art Collaboration Kyoto
実行委員会事務局
ゼネラルマネージャー
宮本 典子氏(右)



データ通信量の負担やストレスなくライブ配信イベントの視聴が可能に。 モバイルバッテリー貸出により出展者の商談機会損失の防止にも貢献

概要

- 会場内のWi-Fi環境を整備
- 利便性の高いイベント空間に

自由にスマートフォンが利用できる環境に

現代美術に特化した日本最大級のアートフェア「Art Collaboration Kyoto 2022」。同イベントを主催するArt Collaboration Kyoto実行委員会は、より満足度の高いイベント運営を目指して会場内の環境整備を実施。来場者向けの公衆Wi-Fiサービス「FREESPOT」と場内貸出用モバイルバッテリーを導入しました。

出展者と購入希望者の商談もスムーズに

「FREESPOT」の提供により、データ通信量の負担やストレスがなくスマートフォン利用が可能に。作品鑑賞だけでなく、トークイベントなどライブ配信プログラムも気軽に楽しめる環境になりました。また、モバイルバッテリーの貸出率は約90%を記録。出展ギャラリーやアーティストも利用しており商談の機会損失の防止にも貢献しています。

目標・課題

- 来場者のスマートフォン利用が増加
- 会場内に充電用の電源設備がない

ライブ配信を気軽に視聴できる環境が必要

イベント開催にあたり、メインプログラムのひとつとしてトークイベントのライブ配信を予定していました。また、カフェテリアやVIPラウンジなどの休憩スペースを新設したため、会場内における来場者のスマートフォン利用が増加すると予測。特にトークライブ視聴は多くのデータ通信量を消費することから、来場者がストレスなくイベントを楽しむ会場づくりが必要でした。

出展ギャラリーの商談の機会損失を懸念

同イベントは作品鑑賞だけでなく商談の場も兼ねています。Art Collaboration Kyoto実行委員会事務局 ゼネラルマネージャー 宮本 典子氏(以下、宮本氏)は「来場者に加えて、出展者も商談などにスマートフォンを利用します。各ブースには充電用の電源設備がないためバッテリー切れによる商談の機会損失が懸念されました。」と話します。

解決策

- 高セキュリティな公衆Wi-Fi環境
- 持ち運び便利なモバイルバッテリー

不特定多数の接続を想定し、安全性を重視

メール・SNSアカウント認証によるセキュリティを備えた「FS-M1266」をゲートウェイ機器とし、公衆Wi-Fiサービス「FREESPOT」を提供。「FS-M1266」はそれぞれ無線LANアクセスポイントとしても機能しています。端末充電向けの貸出用モバイルバッテリーは小型で持ち運び便利な「BSMPB10030C3BK」を採用しました。

アクセスログ保存可能で効果測定も容易に

Art Collaboration Kyoto実行委員会事務局ショウマネージャー 鈴木 秀法氏(以下、鈴木氏)は「セキュリティはもちろん、Wi-Fi接続ログを保存できるので利用者数のカウントなどイベント終了後の効果測定が容易に行える点も評価しました。機器設置も既存の電源とLANケーブルに接続するだけです。小型で扱いやすくブースの死角にも簡単に設置できました。」と話します。

効果

- 多くの来場者が公衆Wi-Fiを利用
- イベントに対する満足度がアップ

当初の想定シーンで多数の端末接続を記録

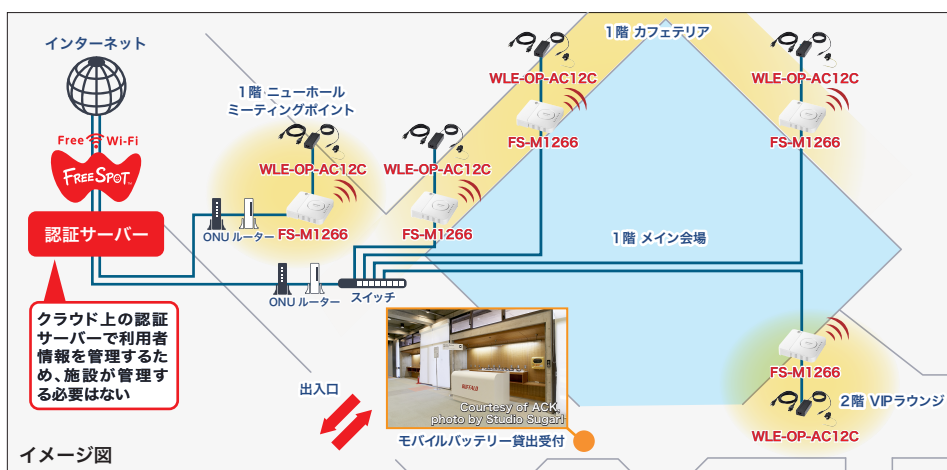
データ通信量を気にせずトークライブ視聴やWeb閲覧が可能に。休憩スペースでも数時間で75回の端末接続が確認されました。モバイルバッテリーの貸出率は約90%で「ニーズに合致したサービスを提供できました。」と宮本氏は話します。

次回アートフェア開催時も同様の環境を

鈴木氏は「昨年比で来場者は約1,000人、作品売上は約1.5億円増加。公衆Wi-Fiと貸出用モバイルバッテリーによる利便性向上に加え、バッファローのグループ企業「株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ」が扱っている空気清浄機「Airdog」もレンタルし、コロナ禍でも安心して開催できました。」と話します。



Courtesy of ACK, photo by Studio Sugar
「FS-M1266」は会場パーティション内に設置



バッファローの公衆Wi-Fi導入キット「FS-M1266」を用いて、2階にある休憩スペースをはじめ会場内各所に「FREESPOT」を提供。1階にはモバイルバッテリー貸出用のブースを展開。

●取材協力: 株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ

導入商品



3年保証
公衆Wi-Fiサービス
「FREESPOT(フリースポット)」
導入キット

FS-M1266



モバイルバッテリー
10000mAh
USB Type-C×1, Type-A×2
AUTO POWER SELECT搭載

BSMPB10030C3BK